

時間を気にして進めましょう

参加者全員が発言できるように、1回の発言時間が長くなりすぎないように気をつけ、簡潔な発言になるよう心がけましょう。

お互いの発言を尊重しましょう

お互いの発言を尊重して、他の人の発言を否定するのではなく、疑問点や理解できない点があれば質問するように心がけましょう。

また、特定の個人や団体などを誹謗中傷するような発言は控えましょう。

スムーズな進行に協力しましょう

意見交換の間は、進行役（ファシリテーター）の指示に従い、スムーズな進行ができるよう協力しましょう。

活発な意見交換のために遠慮せずに発言しましょう

活発な意見交換ができるように、思いついた意見は遠慮せず、積極的に発言するようにしましょう。

テーマと関係のない発言は避けましょう

ただし、時間が限られていますので、意見交換のテーマと関係のない発言は避けましょう。



NPO と行政の協働についての基本姿勢（意見交換）

あいち協働ルールブック 2004 ~NPO と行政の協働促進に向けて~
より

(行政と NPO 共通の基本姿勢)

- ・ 行政と NPO は、双方の良さ、得意分野を活かすために、お互いの立場の違いを尊重する。
- ・ 地域において取組みが必要な課題やテーマについて、共通認識が持てるように、行政、NPO の双方が努める。
また、共通認識が持てないまでも、双方の接点が見出せるように努力する。

(行政の基本姿勢)

- ・ 行政は、幅広い部局において、NPO との情報交換・意見交換を継続的に行うよう努める。
- ・ 行政は、行政内部で横断的に、地域の課題や NPO に関する情報交換や意見交換を行うことによって、組織横断的な課題やテーマに対して協働に取り組むよう努める。

(NPO の基本姿勢)

- ・ NPO は行政への一方的な批判や要求を行うだけにとどまらず、課題解決に向けて建設的な意見交換や提言を行うよう努める。
- ・ 中間支援団体や中間支援機能をもった NPO は、現場の情報をできる限り収集しながら各分野の NPO の意見表明を支援するよう努める。

あいち住まい・まちづくりマスタープラン見直しに向けた
第3回 NPO等意見交換会

テーマ: 住まいに関する情報提供や相談について
~ 住まいの選択・リフォーム・維持管理 ~

13:30	開会 あいさつ
13:35	NPO等意見交換会の開催について
13:40	本日のテーマについて
..... ~第1部~	
13:50	グループワーク(テーブルごと) 自己紹介など(所属、興味あるテーマなど) 検討項目決め 意見交換 テーマに関する現状認識、課題(40分) テーマに関する提案(40分)
15:20	各グループの成果発表準備
15:30	休憩
..... ~第2部~	
15:40	グループ発表と有識者等との意見交換 (第2回住宅市場部会) 各グループ発表(各5分) 発表についての意見交換(各10分) 全体について意見交換(10分)
16:50	講評
17:00	閉会

本日の意見交換会のテーマとグループワークでの主な検討項目

本日のテーマ

住まいに関する情報提供や相談について ～住まいの選択・リフォーム・維持管理～

下記検討項目を中心に、現状課題の認識、提案等について意見交換します。
なお、「地域コミュニティの再生」や「住まい・まちづくりの各主体が担う役割」の観点も含めるものとします。

検討項目

住宅の長寿命化・高品質化に向けた取組

住宅性能表示制度、長期優良住宅の認定制度の普及促進には何が必要か。
マンション登録表示制度、住宅履歴情報（いえかるて）等の新たな取組を進めるべきではないか。

検討項目

既存住宅の流通・リフォームの促進

ライフスタイルやライフステージに応じた住み替えを支援するためにはどのような取組が必要か。
空き家など未利用の住宅ストックを、地域特性に即して（都心・郊外・中山間地域など）、どのように活用していくべきか。
住まいの情報提供・相談体制を充実させる上で重要なことは何か。
耐震改修やバリアフリー改修などのリフォームの普及・啓発を進めるためにはどのような取組が必要か。

検討項目

住まい手に安心な賃貸住宅

借り手・貸し手の情報格差の縮小、相互理解、双方が納得できる賃貸借を実現するためには、どのような仕組みづくりが必要か。

検討項目

老朽化分譲マンションの維持・改善等への対応

マンション管理を適正に進めるために、マンション管理士の活用をはじめどのような取組が必要か。
長期修繕計画の立案、大規模修繕工事、耐震診断・耐震補強工事を促進するためにはどのような取組が必要か。
修繕積立金がどの程度必要かなど、管理者と住み手が共通認識を図るためには何が必要か。

MEMO